

- ✓ ストレートEZレール
新アイテムが続々登場!
- ✓ 建築・建材展 大阪 2026ご来場御礼
- ✓ 理学療法士からみた手すりハ
- ✓ 建築から見るデザイン紀行

NEW

STRAIGHT EZ RAIL

ストレート イージー レール

支柱用コーナージョイントN

ご要望にお応えして、他の支柱と
カット寸法が揃うようにリニューアル!



ロングスパン手すり棒 ディンプル付

支柱ピッチは最大1600mmで本数を削減。
ディンプル付きで握りやすさも向上しました。

新アイテムが続々登場!

38アルミ支柱
1100mm(埋め込み支柱用)
865mm(スタンド直受け用)

ロスが少ない、1本分の短尺支柱が
新たにラインアップ!

支柱用側面ブラケット

床から支柱を立てられない場所や
玄関ポーチ、階段の幅を確保したい場合に。

**今秋
発売予定**

第2回 建築・建材展 大阪 2026

ご来場ありがとうございました!

情報満載!!

マツ六ブース
バーチャルツアー公開中!

実際のブースをリアルに再現!
まるで会場を歩いているような感覚で、
展示商品をご覧ください。
ブースへお越しいただけなかった方もこちらから

360°
view





ヒヤリハットから学びたい

「たよルールUPDATE」は今までの手すりの概念を一から見直し、安全な立ち座りの動作ができるように開発されました。そのうえで、リハビリテーションの観点から手すりの活用方法を提案し、転倒や圧迫骨折を防ぎたいと発信してきました。しかし、どんなに優れた手すりであっても、その利用者の動作課題に適した手すりの選定や環境設定がなされなければ、十分な効果は期待できません。

先日参加した担当者会議でのことです。福祉用具専門相談員の方が、手すりの特徴や使い方について熱心に説明されていました。しかし、残念ながら目の前の利用者の身体機能には適していませんでした。「以前、圧迫骨折の方に提案して喜ばれたから」という、アセスメントを省いた過去の成功体験による『パターンマッチング』の提案になっていたのが原因でした。本来であれば、目の前の利用者を中心に「本当にこの手すりが使えるのか」を検証すべきですが、アセスメントのポイントが分らないと、応用が効かないパターンマッチングの提案になってしまいます。

福祉用具の選択肢が増え、利用者の障害像が多様化している今日、選定提案は非常に難しくなっています。だからこそ、提供側である福祉用具専門

相談員やケアマネジャーの方々にも、アセスメントのポイントを知ってほしいと感じています。利用者が自立した生活を送るためには、関節可動域や筋力などの身体機能を正しくアセスメントした上で、手すりの高さや配置など適切な環境設定を行うことが不可欠です。福祉用具を提案する過程においてアセスメントを重視することで、利用者の不利益(リスク)をどれだけ排除できるか、それこそが専門性の見せ所です。

そこでぜひ活用してほしいのが、テクノエイド協会のホームページで公表されている福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報です。リスクマネジメントを製品(福祉用具)自体の問題にするのではなく、「使うのは人であり様々な問題が発生する」という前提に立って、次回からは理学療法士の視点で具体的なアセスメントのポイントを伝えていきたいと思います。ヒヤリハットが起こる要因を疾患や障害からアセスメントし、動作課題に対する福祉用具の提案や環境設定を事前に悩めるようになっていただきたいと思います。理学療法士として福祉用具に十分な効果を期待する以上に、まずは安全に事故やヒヤリハットが起きないことを願っています。

建築から見る

デザイン紀行 13

～過去から現在そして未来へ～

歴史とモダンの調和、
ミラノサローネに垣間見る
イタリアデザインの底力
(イタリア・ミラノ)

ティ家の遺産であり、1700年代の歴史を刻む建物「Palazzo Visconti (ヴィスコンティ宮殿)」。

豪華な西洋絵画や彫刻がしつらえられた歴史的建造物の中に、Neutraのモダンな家具が配されました。古典的な装飾空間にモダン家具を置くことで、家具デザインの造形、素材、そして輪郭が、美しく際立つ展示となっています。イタリアには、古くから「古いもの=価値があるもの、ラグジュアリー」と捉える思想が深く根付いています。それ故、今もなお多くの歴史的建造物が残され、店舗や展示会場として「活用」し続けています。今回のNeutraの展示は、こうしたイタリア人の価値観をそのまま反映した、象徴的な事例と言えます。



欧州諸国とイタリアとは、家具に対する捉え方に大きな違いがあります。多くの欧州諸国が家具に「機能性、量産性、合理性」を求めるのに対し、イタリアにおける家具は「空間・建築・文化・歴史の一部」と捉えます。この違いは展示方法にも顕著に現れます。

一般的な家具展示会では、白壁をバックにしたミニマルな空間に家具単体を際立たせる手法が主流です。しかしイタリアではモノを単体として売るのではなく、住まい方や空間そのものを「理想の住まい」として提案するのです。今年のミラノサローネで、イタリアの家具ブランド「Neutra(ネウトラ)」が見せた展示は、まさにその象徴でした。

舞台となったのは、中世ミラノの名門貴族ヴィスコン



ここで重要なのは、彼らが歴史とモダンを「決して切り離して捉えていない」という点です。これまで積み上げてきた歴史や文化の延長線上に、新しいデザインがあるということ。それを、展示全体で見事に表現していました。一見すると相反する「歴史」と「モダン」。しかし、その根底にある本質的な文化背景や美的感覚が古くから受け継がれているため、それはもはや単なる対比ではなく、「完璧な調和」として私たちの目に映ります。イタリア人の実生活のすべてが、この展示のように豪華絢爛なわけではありません。あくまでこれは彼らの文化的美意識が描く、「理想の住まい」のカタチです。しかし、培われてきた歴史の厚みと圧倒的な文化力、そしてその延長線上に新しいデザインが存在するということ。デザインとは「過去・現在・未来をつなぐものである」と強く確信させられます。これこそが、世界を魅了し続けるイタリアデザインの、真の底力なのです。

アプリも登録も不要!

MAZROC WebAR
スマホで
デモ機



手すりを **実物大で**
バーチャル
配置!

さっそくARで
手すりを
置いてみる▶▶



未来を変える一歩をいっしょに。

たよルールシリーズ

MOTOE
モトエプロジェクト

地球に優しい福祉用具の
サーキュラーエコノミー。



福祉住環境
コーディネート **道**
の答え: ① **医師**

Information
マツ六からのお知らせ

●8/11(火)~16(日)は夏季休業日とさせていただきます。

発行元: **マツ六株式会社**

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>
MAZROC 2608-1

